

麻酔科 Anesthesiology

1. スタッフ構成(2025年3月時点)

- 藤谷 太郎(副院長、経営改革推進本部副本部長、経営改革推進室長)
1986年愛媛大学医学部卒
専門分野:麻酔一般、集中治療、ペインクリニック
資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会麻酔科認定医・麻酔科指導医、日本区域麻酔学会認定医、厚生労働省麻酔科標榜医・臨床研修指導医
- 奥田 康之(入院サポートセンター長)
1990年聖マリアンナ医科大学卒
専門分野:麻酔一般、集中治療
資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会麻酔科認定医・麻酔科指導医、厚生労働省麻酔科標榜医・臨床研修指導医
- 中西 和雄(主任部長)
1991年愛媛大学医学部卒
専門分野:麻酔一般、産科麻酔
資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会麻酔科指導医、厚生労働省麻酔科標榜医・臨床研修指導医
- 矢野 雅起(部長、集中治療センター長、集中治療室長)
1994年愛媛大学医学部卒
専門分野:麻酔一般、集中治療
資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会麻酔科指導医、日本集中治療医学会集中治療専門医、厚生労働省麻酔科標榜医・臨床研修指導医
- 程野 茂樹(部長)
2000年長崎大学医学部卒
専門分野:麻酔一般、成人心臓麻酔、災害医療(DMAT)
資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会麻酔科指導医、日本周術期経食道心エコー委員会(JB-POT)認定医、日本医師会認定産業医、厚生労働省日本DMAT統括DMAT登録者・麻酔科標榜医・臨床研修指導医
- 品川 育代(部長)
2004年愛媛大学医学部卒
専門分野:麻酔一般、小児麻酔、緩和ケア
資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会麻酔科認定医・麻酔科指導医、日本小児麻酔学会認定医、厚生労働省麻酔科標榜医・臨床研修指導医
- 菊池 幸太郎(部長)
2005年高知大学医学部卒
専門分野:麻酔一般、成人心臓麻酔
資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会麻酔科指導医、日本心臓血管麻酔学会心臓血管麻酔専門医、日本周術期経食道心エコー委員会(JB-POT)認定医、厚生労働省麻酔科標榜医・臨床研修指導医
- 上松 敬吾(部長)
2009年愛媛大学医学部卒
専門分野:麻酔一般、集中治療、救急医療
資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本救急医学会救急科専門医、日本集中治療医学会集中治療専門医、厚生労働省麻酔科標榜医・臨床研修指導医
- 高柳 友貴(部長)
2010年徳島大学医学部卒
専門分野:麻酔一般、成人心臓麻酔、集中治療
資格:日本麻酔科学会麻酔科専門医、日本周術期経食道心エコー委員会(JB-POT)認定医、厚生労働省麻酔科標榜医・臨床研修

指導医

- 佐々木 知恵(部長)
2010年高知大学医学部卒
専門分野:麻酔一般
資格:日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会麻酔科認定医・麻酔科指導医、厚生労働省麻酔科標榜医・臨床研修指導医
- 相原 法昌(医長)
2013年愛媛大学医学部卒
専門分野:麻酔一般
資格:厚生労働省麻酔科標榜医
- 中西 智紀(専攻医)
2020年愛媛大学医学部卒
専門分野:麻酔一般
資格:厚生労働省麻酔科標榜医
- 佐々木 凜来(専攻医)
2021年愛媛大学医学部卒
専門分野:麻酔一般
- 吉良 美香(専攻医)
2021年愛媛大学医学部卒
専門分野:麻酔一般
- 清水 智恵子(診療委託)
- 鍋田 多恵子(診療委託)
- 原田 知実(診療委託)
- 越智 貴紀(診療委託)
- 高石 和(診療委託)
- 土手 健太郎(診療委託)
- 原田 雅光(診療委託)

2. 実績

2024年の総手術件数は7,664件でした。麻酔科管理の手術件数は4,989件で、このうち1,085件(21.7%)が緊急手術でした。

■ 麻酔科管理手術件数

(1) 麻酔法別統計

麻酔法	2020	2021	2022	2023	2024
全身麻酔(吸入)	2,679	2,592	2,477	2,607	2,657
全身麻酔(TIVA)	1,214	1,314	1,377	1,508	1,501
全身麻酔(吸入)+硬・脊・伝	445	284	316	320	301
全身麻酔(TIVA)+硬・脊・伝	282	189	221	218	166
脊椎+硬膜外麻酔	4	4	2	3	4
硬膜外麻酔	2	3	3	3	2
脊椎麻酔	317	345	329	281	304
伝達麻酔	28	12	6	9	3
その他	70	46	39	38	51
合計	5,041	4,789	4,770	4,987	4,989

(2) ASA 分類別統計

ASA 分類	2020	2021	2022	2023	2024
1	757	609	468	500	486
2	2,200	2,055	2,144	2,373	2,446
3	1,062	1,072	1,069	1,034	901
4	66	48	27	79	70
5	0	2	1	0	0
6	0	0	0	0	0
1E	160	162	97	121	105
2E	399	440	518	531	588
3E	264	291	335	256	281
4E	84	65	86	60	76
5E	49	45	25	33	36
6E	0	0	0	0	0

(3) 手術部位別統計

手術部位	2020	2021	2022	2023	2024
脳神経・脳血管	230	227	263	249	212
胸腔・縦隔	189	166	163	156	175
心臓・血管	378	467	444	491	523
胸腔・腹部	15	3	12	7	12
上腹部内臓	837	728	732	801	739
下腹部内臓	1,085	1,019	993	1,116	1,059
帝王切開	289	327	325	276	289
頭頸部・咽頭部	640	554	561	529	594
胸壁・腹壁・会陰	426	362	366	442	435
脊椎	358	342	330	342	345
股関節・四肢	551	551	552	540	551
検査	3	1	4	3	3
その他	40	42	25	35	52

(4) 年齢別統計

年齢	2020	2021	2022	2023	2024
～1 か月	20	11	19	16	15
～12 か月	36	45	41	34	26
～5 歳	209	148	124	169	154
～18 歳	239	220	203	209	201
～65 歳	2,664	2,098	2,075	2,128	2,092
～85 歳	1,626	2,032	2,012	2,166	2,255
86 歳～	247	235	296	265	246

3. 2025 年度目標

(1) 安全で良質な麻酔医療の提供

- ・入院サポートセンターや院内の各部署と連携を図り、麻酔科術前診察を充実させて周術期の安全性の向上に努めます。
- ・全身麻酔、脊髄くも膜下麻酔や硬膜外麻酔法、各種の神経ブロック、生体情報モニタリング、エコーガイド下血管穿刺法、困難気道時の気道確保法等をガイドラインに沿った標準的な方法で実施し、安全な麻酔の提供に努めます。
- ・末梢神経ブロックや麻薬の持続鎮痛などを用いた多角的で良質な術後の痛みの緩和を提供します。
- ・術後の嘔気嘔吐対策を積極的に行います。

- ・集中治療センターや各診療科と連携して、術後早期回復プログラムを促進し、早期の離床を図ります。
- ・薬剤部と連携して麻酔関連薬剤の確保に努め、標準的な麻酔医療が持続的に提供できるように努めます。

(2) 集中治療の提供

- ・重症症例の早期回復を目標に、集中治療センターと連携して人工呼吸、体外循環、血液浄化等の高度医療を提供します。
- ・集中治療の標準化を図ります。

(3) 業務改善

- ・働き方改革のA水準を遵守できるよう、労働環境の改善に努めます。
- ・限られた人的資源を有効に活用して、必要な手術を適切に受けることができ、かつ、緊急手術への柔軟な対応ができる体制を維持します。

4. 学術関係

(1) 学会発表および講演

1. 高柳友貴、矢野雅起、藤谷太郎、中西和雄、土手健太郎、菊池幸太郎、上松敬吾、相原法昌. 胸部ステントグラフト内挿術中のアナフィラキシーショックに対し経皮的心肺補助を使用して救命し得た一例. 第 51 回日本集中治療医学会学術集会. 札幌 (2024.3.14-16)
2. 土手健太郎、矢野雅起、上松敬吾、高柳友貴、相原法昌、中西和雄、藤谷太郎、牧野洋(旭川医科大学). 日本の集中治療の源流(2) 誰が Intensive Care の Care を治療と訳したか. 第 51 回日本集中治療医学会学術集会. 札幌 (2024.3.14-16)
3. 中西智紀、上松敬吾、中西和雄、程野茂樹、菊池幸太郎、佐々木知恵. 経皮的僧帽弁クリップ術後の高度な右左シャントを伴う医源性心房中隔欠損に対して、迅速な経皮的心肺補助導入とカテーテル閉鎖術を要した 1 症例. 日本麻酔科学会第 71 回学術集会. 神戸 (2024.6.6-8)
4. 池田彩夏、入澤友美、奥田康之、高柳友貴、相原法昌、藤谷太郎. ホルミウムレーザー前立腺核出術(HoLEP)におけるくも膜下モルヒネの術後鎮痛効果に関する検討. 日本麻酔科学会第 71 回学術集会. 神戸 (2024.6.6-8)
5. 武田泰子、品川育代、清水智恵子、藤谷太郎. 羞明に伴う難治性眼痛に対し、神経ブロック治療を中心とした複合的治療が奏効した一例. 日本ペインクリニック学会第 58 回学術集会. 宇都宮 (2024.7.18-20)
6. 佐々木知恵、中西和雄、藤谷太郎、武田泰子、品川育代. 全身麻酔導入後の気管挿管時に判明した声門下狭窄の 1 例. 日本臨床麻酔学会第 44 回大会. 新宿 (2024.11.21-23)

(2) 論文・著書

1. 武田泰子. Anatomical study of the medial branches of the lumbar dorsal rami: implications for image-guided intervention. ペインクリニック. vol.45. No.2 (別冊). 209 (2024.2)
2. 五藤凌志(愛媛大学)、中西和雄、藤谷太郎、阿部尚紀(愛媛大学)、西原佑(愛媛大学)、萬家俊博(愛媛大学). 先行留置した中心静脈カテーテルを誤って穿通した 1 症例. 麻酔 2024 73 巻(4 号). 253-256 (2024.4)